

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	東神楽町・東川町子ども発達支援センターおひさま		
○保護者評価実施期間	令和6年12月16日		～ 令和7年1月24日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	8	(回答者数) 7
○従業者評価実施期間	令和6年12月16日		～ 令和7年1月24日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	16	(回答者数) 16
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年3月4日		

○分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	事業所の強みは、子ども一人ひとりの特性に合わせた多様なプログラムを提供し、柔軟に対応している。子どもの状態やペースに寄り添い、最適な支援を行えるよう努めている。	小集団の放課後等デイサービスについても、個々のお子さんに担当の療育指導員をつけて対応することにより、子どものその時の状態に合わせた療育ができる環境を整えている。	子ども一人ひとりの興味や課題・特性に合わせた、療育をさらに充実させていく。
2	利用者から非常に高い満足度の評価をいただいている。	職員のさらなる資質向上のため、研修を行い利用されているお子さんへ還元できるよう取り組んでいる。	内部研修のほか、外部研修にも参加し様々な療育の手法や、知見を習得する。
3			

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	通所の希望があった場合、迅速な対応が困難。	限られた職員数のため、希望があった場合に迅速な対応が困難。	保護者の要望により経過観察児として受入れを行っているが、回数が少ないため十分な支援を行うことが難しい。
2			
3			